

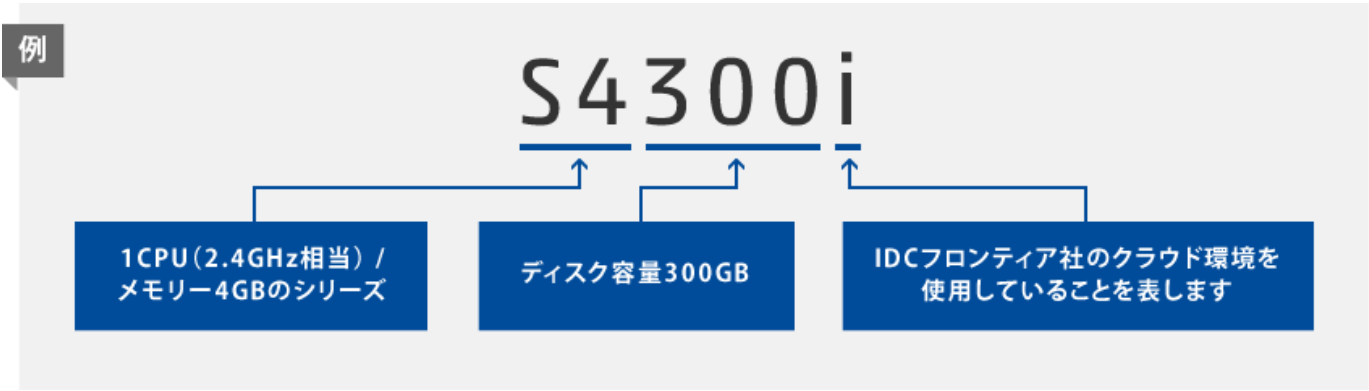


プラン選びのポイント

Movable Type クラウド版は、プランによりCPU、メモリー、ディスク容量、およびサービス内容が異なります。
下記のポイントを参考に、最適なプランをお選びください。

プラン名の見方

Movable Type クラウド版のプラン名は、CPUとメモリーのスペック毎に決まったシリーズ名（アルファベットと数字）+ ディスク容量（50GB以上のみ）で表されています。



S4以上のプランで提供しているApache版は、上記プラン名の後ろに a が付きます。また、Movable Type 7 のプラン名には、最後に「S4i7」「S4ia7」のように、最後に「7」が付きます。

現在は、下表のように、各CPU／メモリーのスペック毎に、異なるディスク容量のプランを用意しています。

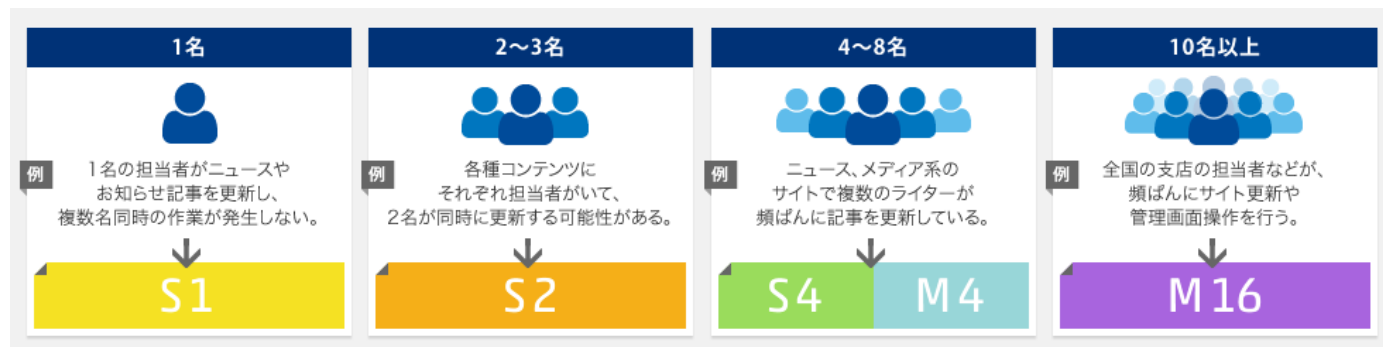
CPU／メモリー	S1 1CPU (0.8GHz相当) メモリー 1GB	S2 1CPU (1.6GHz相当) メモリー 2GB	S4 1CPU (2.4GHz相当) メモリー 4GB	M4 2CPU (2.6GHz相当x2) メモリー 4GB	M16 2CPU (2.2GHz相当x2) メモリー 16GB
	ディスク容量				
10GB	S1i	S2i	S4i	-	-
50GB	-	S250i	S450i	M450i	M1650i
100GB	-	-	S4100i	M4100i	M16100i
300GB	-	-	S4300i	-	M16300i
500GB	-	-	S4500i	-	M16500i

プラン選びのポイント

Point 1 運用する人数は何名か？

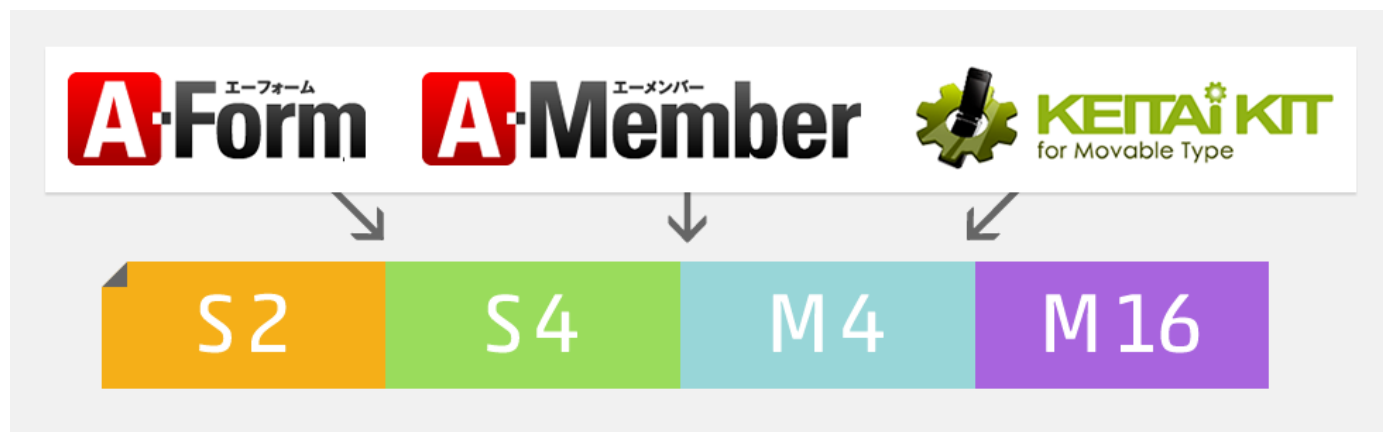
作成できるウェブサイト／ブログ数、ユーザー数は無制限ですが、運用人数が多いほど、記事更新（再構築）などの処理が同時に発生する可能性が高くなります。再構築や検索など負荷の高い処理が集中してリクエストされた場合、プロセスがすべて使用されてタイムアウトが発生し、快適にご利用いただくことができません。そのため、下記、各プランの運用人数の目安を参考にしてください。

なお、[サーバー配信](#)についても、実施にあたりプロセスを使用します。サーバー配信を稼働させるタイミングで運用人数に加算されることを考慮に入れて、プランをお選びください。



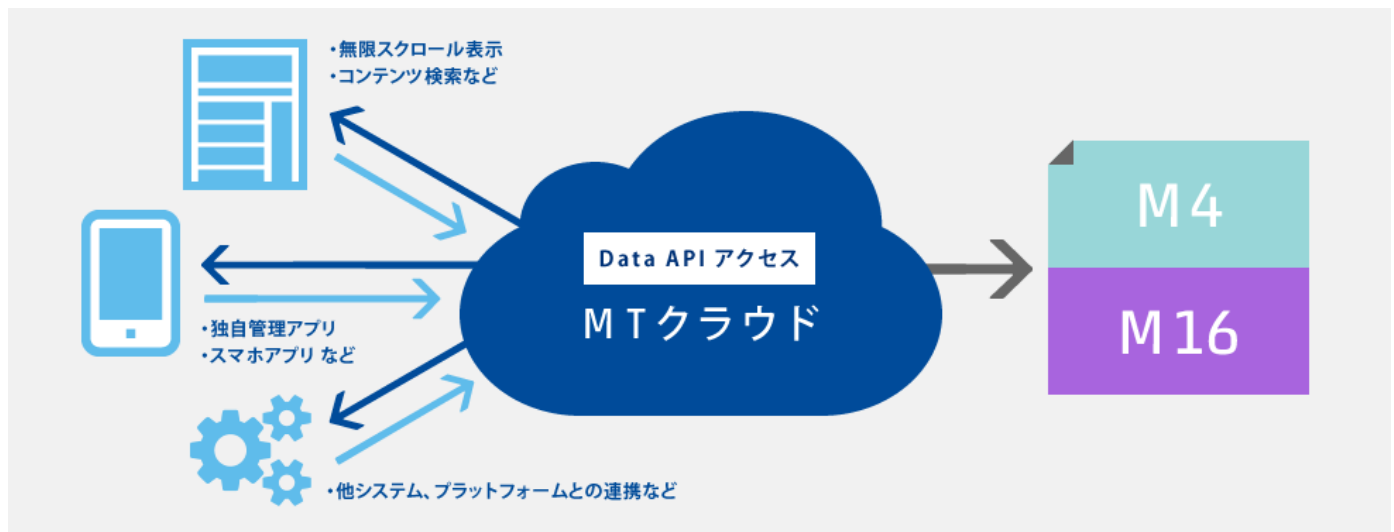
Point 2 どのようなプラグインを利用するのか？

プラグインによりプロセスが発生していると、Point 1 と同様の原理で、操作の快適性が低下します。下記のようなプラグインを導入される場合は、快適にご利用いただくため、S2以上をお選びください。



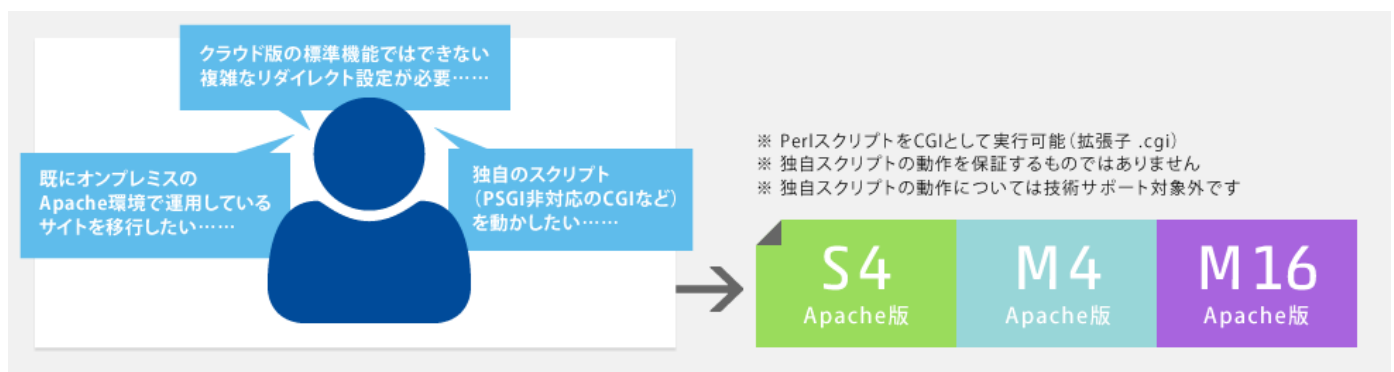
Point 3 Movable Type の Data API を使用する予定がある

Movable Type には、さまざまなプログラム言語から REST/JSON API で Movable Type にアクセスし、データの取得や更新ができる Data API が搭載されています。この Data API での読み書きが頻繁に行われると、操作や閲覧の快適性が低下します。使い方や、読み書きの発生頻度にもよりますが、Data API を使用される場合は、M4 以上のプランをおすすめします。



Point 4 オンプレミス環境やレンタルサーバー環境からそのまま移行したい

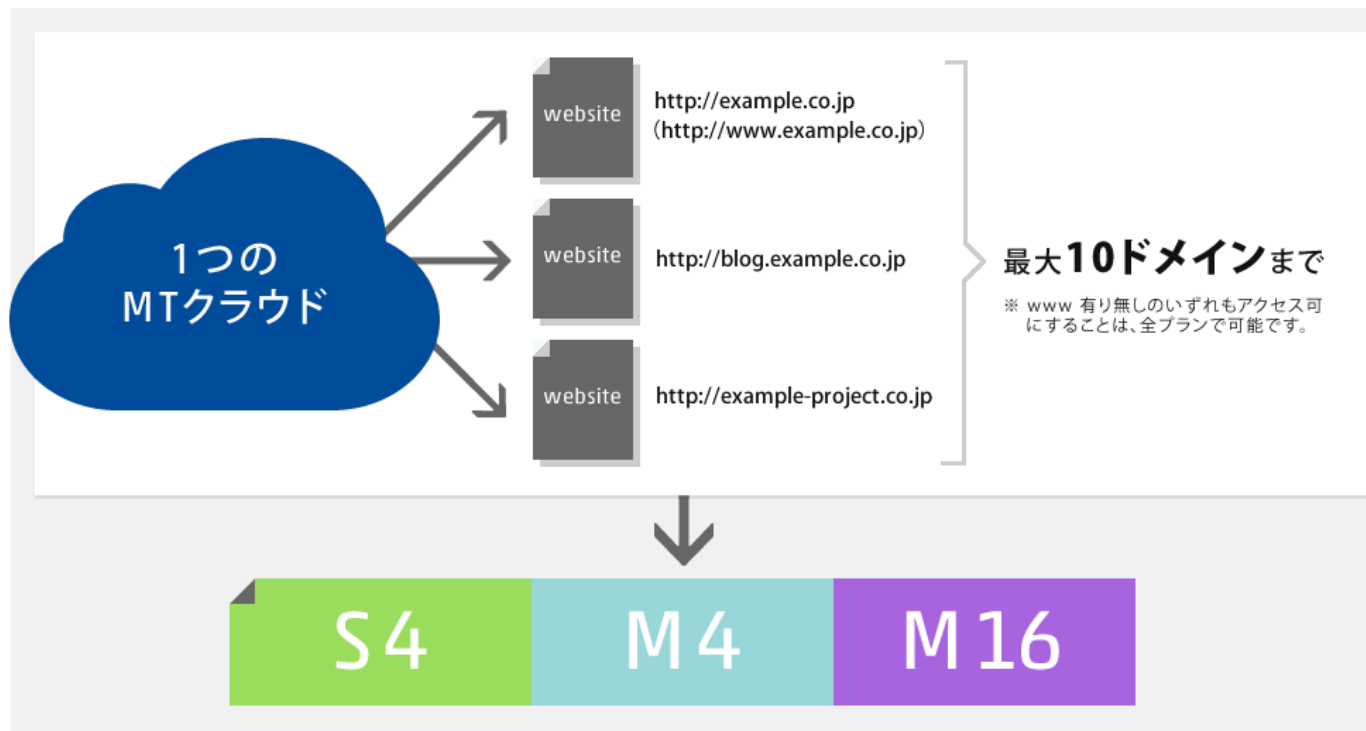
多くのオンプレミス環境やレンタルサーバー環境のWebサーバーには、Apacheが採用されています。Movable Type クラウド版のWebサーバーは、軽量なNginxが基本となっていますが、S4、M4、M16 では、Apache版を選択可能です。Apache版では.htaccessを利用した各種設定も可能です。



Point 5 マルチドメインでサイトを運用したい

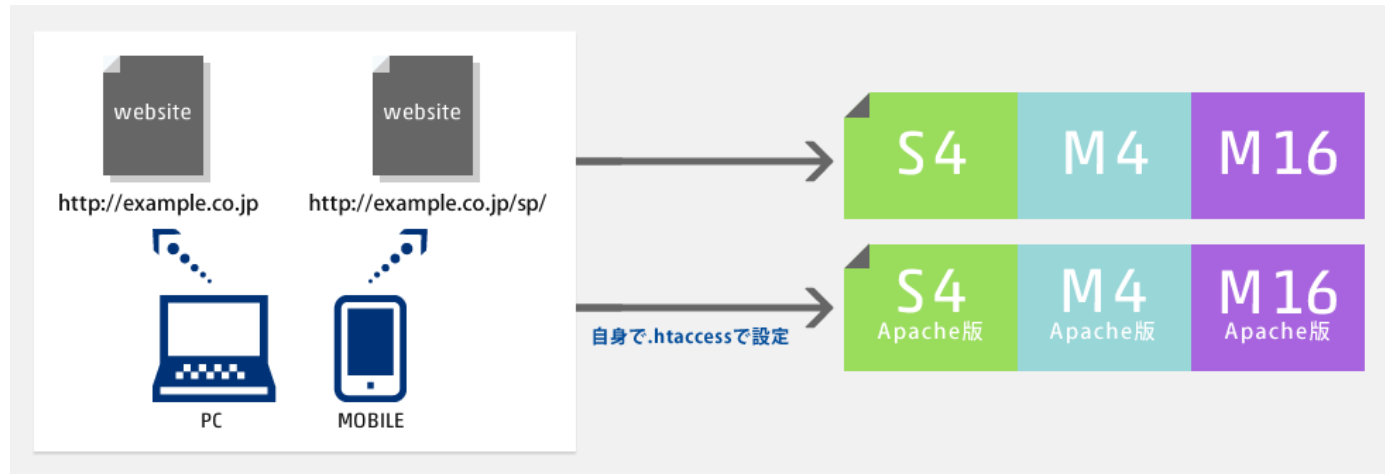
S4、M4、M16 のプランでは、1契約（1つのクラウドインスタンス）の Movable Type 内に構築するウェブサイト単位で、それぞれドメインを設定することが可能です。

[マルチドメインの設定方法](#)



Point 6 モバイルアクセスの振り分けをしたい

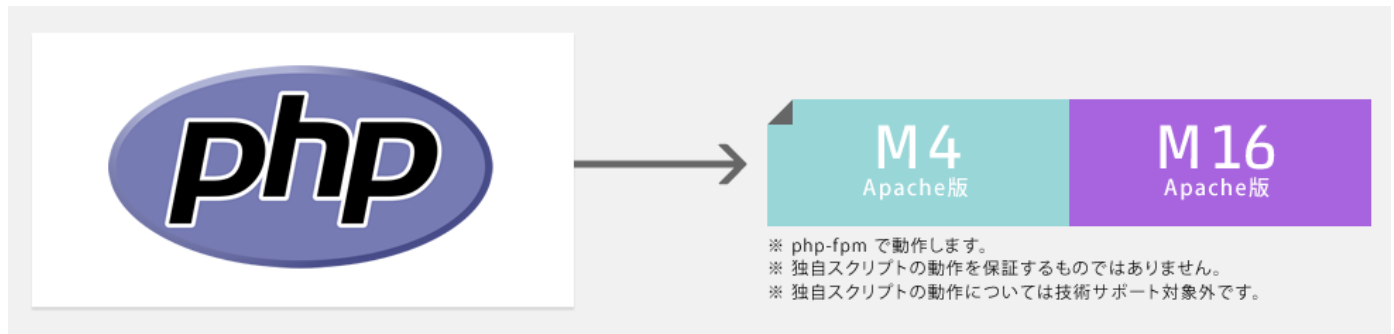
PC向けサイトと異なるURLでモバイルサイトを用意し、自動で振り分けて表示させる場合など、ユーザーエージェントによるリダイレクトが必要な場合は、S4、M4、M16 プランをお選びください。さらにApache版であれば、.htaccessを利用してご自身での設定が可能です。



Point 7 独自PHPスクリプトを使用したい

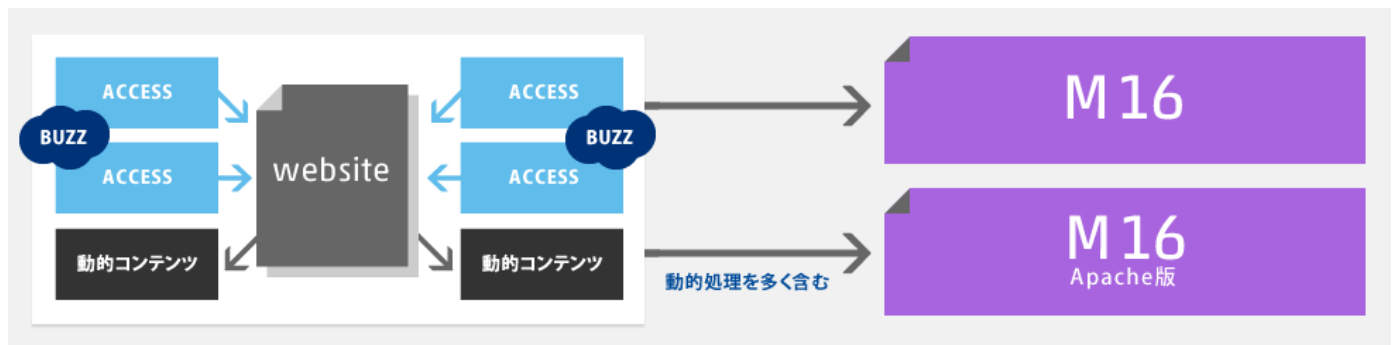
Movable Type のダイナミックパブリッシングではPHPを使用するため、Nginx版でも一部のPHPコードは利用可能ですが、基本的にはNginx版では独自PHPスクリプトの実行は不可となっています。独自PHPスクリプトを利用されたい場合は、CPUも考慮し、MシリーズのApache版をお選びください。

※ ダイナミックパブリッシングおよびクラウド版対応済みのプラグイン（A-Form、A-Member、ケータイキットなど）におけるPHPについては、Nginx版でも動作します。



Point 8 月間100万PV以上のアクセスが予想される

ウェブサイト側で月間100万PVを超える多数のアクセス数が見込まれ、表示パフォーマンスを維持する必要がある場合は M16 をお選びください。特にApache版の場合は、PHPの実行数が多い場合にも有効です。



Point 9 Movable Type 7 か、Movable Type 6 か？

2018年5月より、最新バージョン Movable Type 7 のクラウド版の提供を開始しています。Movable Type 7 では、新機能「コンテンツタイプ」を使って、これまでの「記事+カスタムフィールド」という形ではなく、出力結果を考慮して構造化されたコンテンツデータを作成でき、より可用性の高いコンテンツ運用が可能になります。

クラウド版では、当面 Movable Type 7 と Movable Type 6 の両バージョンを併売しています。クラウド版においては、Movable Type 6 のメンテナンスが2022年5月16日まで行われるため、比較的長期間、Movable Type 6 のまま安全に運用可能で、メンテナンス期間中の任意のタイミングで Movable Type 7 への移行が可能です。

新たにサイトを作成される場合は、最新バージョン Movable Type 7 のご利用をおすすめしますが、ケースによっては、Movable Type 6 のプランをお申し込みください。

Movable Type 7 をおすすめするケース

- case 1 Movable Type 7 の新機能を活かして新サイトを作成したい
- case 2 旧バージョンで運用中のサイトを、Movable Type 7 の新機能を活かしてリニューアルしたい
- case 3 旧バージョンで運用中のサイトを、Movable Type 7 の新機能を使用せずそのままバージョンアップしたい

注意点：

旧バージョンで利用していたプラグインが利用できなくなる場合があります。主なプラグインの対応予定については、こちらで紹介しています。

[各社主要プラグインの Movable Type 7 対応について](#)

Movable Type 6 をおすすめするケース

- case 1 旧バージョンで運用中のサイトを、ひとまず安全なクラウド版に移行したい
- case 2 無料引越サービス事前調査で、Movable Type 7 への無料引越は対応不可だった

その他、クラウド版のサービス仕様も必ずご参照ください。

[クラウド版サービス仕様](#)

[クラウド版のトップに戻る](#)

Movable Type ソフトウェア版は無料トライアルが可能です。
ライセンスの購入、クラウド版の申し込みは、製品購入からお進みください。

[無料トライアル](#)

[製品購入](#)

[資料ダウンロード](#)

Movable Type 全般に関する疑問や、導入に際してのご相談など、コンサルタントに直接ご相談いただける予約制の相談会を開催しています。

[Movable Type 導入相談会のご案内](#)

ドキュメントやユーザー向けの情報はこちら

Movable Type のくわしい使い方や、タグリファレンス、開発者向けのドキュメントなどは、MovableType.jp で公開しています。プラグインやテーマは、プラグインディレクトリをご覧ください。

[MovableType.jp](#)

[プラグインディレクトリ](#)

The screenshot displays the Movable Type Cloud website interface. At the top, there's a navigation bar with links to 'MovableType.jp', 'プラグイン・テーマディレクトリ', and 'MTQ'. Below this, the main header features the Movable Type logo and navigation links: 'マニュアル', 'リファレンス', 'Tips', 'Q&A', '開発者ポータル', 'ユーザーグループ', 'ブログ', and 'サポート・お問い合わせ'. A search icon is also present.

The central content area features a large banner for 'Content Hub Platform' with the text '2018年5月16日、遂にダウンロード開始。' and 'Movable Type'. Below the banner is a search bar with tabs for 'マニュアル', 'リファレンス', 'Tips', and 'Q&A'. The search bar contains the text '検索対象を一つ以上選択し、キーワードを入力してください'.

The left sidebar, titled 'Movable Type NEWS', lists several news items with dates and titles, such as '2018.04.25 Movable Type 7 RC2 の提供を開始' and '2018.04.18 2018 年ゴールデンウィーク期間中のユーザーサポートについて'.

The right sidebar, titled 'ブログ', lists blog posts with dates and titles, such as '2017.11.15 さらば、FogBugz。こんにちは、Jira。' and '2017.11.02 Movable Type 7 の基礎知識: カテゴリセット'.



© Six Apart Ltd.